



教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう  
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

## 〇山が動く時

3月3日に都立高一次・分割前期入試の結果発表があり、大きな節目を迎えました。学校では一人一人の進路が決まるまで引き続き丁寧に支援していきます。3年生は卒業式まで2週間を切りました。また、全学年とも学年末考査を終え、一段落しているところです。間もなく、今の学年・クラスが終わりを告げ、新しい世界がそれぞれ始まろうとしている時です。この1年間、今のクラス・学年で様々なドラマや人間関係があったと思います。絆や団結を深めていきましたが、人間関係によるトラブルや修復困難な状況が一部で見られたのも事実です。願わくば、それらを今のクラス・学年で改善・修復でき



新町中正門に咲く白梅

R7.3.1 撮影

と良いと思っています。確かに、一度壊れてしまった人間関係はすぐには元通りになりません。かと言って、このまま終わることは私自身、心残りです。それはお互いに気持ちよく、今の学級・学年で終わることができない状態を嫌な記憶として留めてしまうからです。もしも自分が悪いことをして、謝れていない状況があるなら、今からでも遅くないから勇気を奮って、心から謝ってみてはいかがでしょうか。そして、「もう許せない。」という気持ちになっている人は、その相手に「私は、あの時〇〇のことでとても苦しい、辛い思いをした。」を伝えた上で、もしも相手が心から反省できている、あるいは私に対してプラスの取組を起こしていたら、次なる行動を検討していただけないでしょうか。無論、最終的に判断するのは生徒の皆さん一人一人にかかっていることではあります。私はこれを執筆している時、アメリカのキング牧師（1929～1968）のことを思い出しました。彼は当時差別が当たり前だったアメリカ社会に疑問をもち、自身も受けた差別を基にして、人種平等と人間愛を世界に発信し続けました。その中で彼は幾つかの名言を残しています。例えば「疑わずに最初の一段を登りなさい。階段の全てが見えなくてもいい。とにかく最初の一步を踏み出すのだ。」「正しいことをするべきタイミングは、いつでも『今』だ。」「絶望する時間は有限だ。無限の希望を見失うな。」「人生で最も永続的でしかも緊急の問いかけは、『他人のために、今あなたは何かをしているか』である。」「私は人を愛そうと思う。嫌悪は、あまりにも心に負担がかかるから。」「深い愛のないところに、深い失望は起こりえない。」「人を許すことを覚え、身につけなければいけません。許す力量のない者には、愛する力もありません。最悪の人間にもどこか取り柄があるように、最高の人間にも悪い面があります。これがわかれば、敵を憎む気持ちが薄れます。」「憎しみは人生を麻痺させる。だが愛は人生を解放する。」「愛だけが、敵を友人に変えられる唯一の力だ。」「闇で闇を消すことはできない。闇を消すことができるのは光だけである。憎しみで憎しみを消すことはできない。憎しみを消すことができるのは愛だけである。」などです。この機会にぜひキング牧師の言葉を今一度考えてみてください。実は日本でも別な角度から、これらに匹敵するすばらしい考え方、言葉があります。それは「三方よし。」という言葉です。近江（現在の滋賀県）に本店を置き江戸から明治にかけて日本各地で活躍した近江商人が大切にしてきた言葉でした。彼らがお客様から信用を得るために大切にしていたのが、「買い手よし。」「売り手よし。」「世間よし。」という「三方よし」の精神でした。近江商人は「三方よし」をモットーに、自らの利益のみを求めることなく、多くの人に喜ばれる商品を提供し続けました。さらに彼らは利益が貯まると無償で橋や学校を建てるなど、世間の為にも大いに貢献しました。つまり三方よしとは、「商いは自らの利益のみならず、買い手である顧客はもちろん、世の中にとっても良いものであるべきだ。」という現代の経営哲学にも通じる考え方で、これは学校でも通用すると感じています。つまり「生徒よし。」「保護者よし。」「学校よし。」につながります。保護者・地域の皆様、この1年間、本校の教育方針・活動にご理解とご協働をいただき、有難うございました。お陰様で教職員一同、生徒の成長を願う学校経営方針に基づき努力することができました。また、ご指摘等

も数々いただきました。初期対応をよくして保護者様とのコミュニケーションを一層努力しなければいけないとも感じています。令和7年度も全ての生徒に、本校の教育目標が行き届くようよう学校経営を進めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

## ○3月・4月初旬の学校ポイント

### (1) 3/19に卒業式を迎えます

すでに3年保護者様への案内通知を卒業生に渡しています。卒業生の保護者様におかれましては、門出のお見届けをぜひよろしくお願いいたします。

### (2) 修了式(1・2年)は3/25火、そして春休みは3/26水からです

1・2年生は学級納めとなります。冒頭でも述べましたが、新学期から良いスタートを切るためにも良い終わり方をしてください。ところで、2年生は3年生になるとすぐに全国学力・学習状況調査(国語、数学、理科)があります。(国語、数学は4/17木)1・2年で学んできた学習がどのくらい身に付いているのか、どこを苦手としているのかが明確になります。これは、この後に控えている進学先の決定等にも影響を与えることとなります。2年生はぜひこの春休みに1・2年の復習に意を注いでください。1年生は2年生の後姿を見て、12日間と短い春休みですが、1年生で学んだ学習の苦手分野の復習に勤しましう。特に数学に意を払ってください。

### (3) 新2・3年生の始業式は4/7月、入学式は4/8火です

不安と期待が入り乱れていると思いますが、在校生(1・2年生)の皆さんはそれぞれ進級します。不安があっても、新入生(新1年生)の方がもっと大きいでしょう。大変な時こそ、「人を助けてあげる」、「人に優しく接してあげられる」自分でいてください。大いに期待しています。そして先生方は皆さんに必要な支援を行いますので共に頑張ってください。

### (4) 新1年生は新標準服で登校します(令和7年度新入生から順次着用)

令和7年度新入生から新標準服となります。これは令和5年度第43代生徒会が中心となって、生徒総会での議決を経て、決定したものです。〇〇〇〇生徒会長(当時)は「新町中を心機一転させたいという意見や後輩にも私たちと同じような気持ちを抱かせたくない。新町中の明るい未来のために必要である。」と力強く発信しました。生徒の皆さんの温かい力で変えられた新標準服に身をまとった新入生を見ると、感慨深いものがあると思います。なお、令和12年度までは移行期間なので、新入生でも現行の標準服を着ている生徒もいることを知ってください。(令和13年度完全実施:新町中50周年記念)

※下記のエンブレムは、ブレザーとニットベストに刺しゅうされています。



エンブレムデザイン(左)とその謂れ等(右)  
※デザイン作成者・  
〇〇〇〇さん(R5 卒業生)  
の考え~感動を覚えます

○全体的なバランスを考えてデザインしたため、意味のないものがあることを承知していただきたいです。エンブレム上部の王冠はバランスを取るために入れました。

○左右脇に生えている草は青梅の自然と私たちを表した若葉です。これからの青梅を創っていく若い芽(=自分たち)のような解釈です。

○左右にある羽は未来へ羽ばたいて行くという意味が込められています。また翼でなく羽なので、一人ではなくみんなで(1つの羽が集まって翼になるように)頑張るなどの団結の意味もあります。

○新町中のSを取ってエンブレムの中央に置きました。(Sから)線が増えていたり、渦を巻いているようにも見えたりと思います。これは多摩川などの清流を表すとともにしなやかさ、柔軟さを表しています。

## ○ お知らせ

**令和6年度 学校評価ができました** すでに2月号にて自己評価（保護者、生徒アンケートを加味した教職員による学校評価）を掲載しましたが、学校評議員（学校運営連絡協議会メンバーで教職員を除いた地域・保護者代表の方々）による学校関係者評価をいただきました。これらを踏まえながら来年度の学校経営を進めていきますのでよろしくお願いいたします。学校評議員の皆様、1年間有難うございました。

※データはすでに保護者会を通じて配布しています。学校HPでもご覧いただけます。

令和6年度学校評議員

田中 様（民生児童委員）	久保隅 様（藤橋第2自治会長）
笹倉 様（保護司）	佐藤 様（本校PTA会長）
吉野 様（青少年新町地区委員会会長）	清水 様（本校PTA副会長）
宮下 様（新町7・8・9丁目自治会長）	酒井 様（本校PTA副会長）

## ○ 2月学校の様子

道徳授業地区公開講座 2/1 弁護士会多摩支部 弁護士 高橋 郁子 様から「いじめ防止」に関わるご講演をいただきました。生徒は、いじめについての自分の考えにバージョンアップが図られました。写真下の生徒感想文をご覧ください。



- ・「葬式ごっこ」なんて本当に許せない。（自分が）いじめようとしていなくても、相手が苦痛と感ずるかもだから気を付けて行動したいと思った。
- ・いじめる側は悪いけど、いじめられる側は悪くないというのは違うと思う。もしいじめられる側が、前にいじめてた側だとしたら、どちらも悪いとは思う。逆にいじめられる側が前にもいじめていなかったら、それは悪くないと思う。だから私は時と場合によると思いました。
- ・いじめというものは、集団行動をする中で必ず起こるもので、それに対して「自分がどうするか」を考えることが大切だと思った。私はいじめられている人を見たら、いじめている人を止めたいけど、「自分に何かされたらどうしよう。」と考えてしまい、見るだけの人になってしまう。しかし今回の講演の話を聞き、「誰かが止めないと、いじめは永遠に続く。」ということに胸がドキッとなった。実際にあったように最悪の場合、死亡者が出てくる。それを防ぐため、「誰か」でなく「自分」が動き出すことで少しでもいじめがなくなるという考えになった。
- ・コップ一杯の話がすごく分かりやすかったです。気に入らないことや少し嫌なことがあると、いじめる側は少しの水の量がたまり、やり返そうとすると、いじめられた側はいっぱいの水がたまります。いじめた側はスッキリするかもしれないけど、いじめられた人はその頃は相当辛いと思います。悪口もいじめであることを皆がしっかりと自覚すべきだと思います。
- ・実話を聞いて本当に苦しくなりました。これがフィクションでなく実際に起きてしまっているということが怖いと思いました。そしていじている側は軽く思っているからまた繰り返される、そんな状態を無くしたいと思いました。いじめられている人のカウンセリングをするのではなく、いじている人のカウンセリングをした方がよいです。問題があるのはいじている人だと思います。
- ・事例を聞かせていただいてとても胸が苦しくなりました。実際、自分も仲がいいから少し口が悪くなってしまっている所があるので、これからはしっかりと言葉に気を付けて行きたいです。「他の人が言っていたら注意する。」ということは今まで以上に気にしていきたいです。弁護士のマークに天秤がある。それが平等などの意味を表していることに驚きました。
- ・いじめは場合によって仕方がないものだと思っていた。けれど、そんなことはなくやり返しだとしてもやってはいけないことだと分かった。更に相手が「辛い」と思えばいじめになってしまうことを聞いて、私は友達や色んな人と話す時は相手のことを考えて発言しようと思った。

- ・自分がいじりだと思っけていても、相手がいじめだと思えばいじめなんだと改め思った。
- ・「世界中の一人一人が人権を持っている。」という言葉に、私は胸が打たれました。なぜならば世界中の一人一人が人権を持っているから、いじめはいけなく、みんな平等ということが、「確かにな」と共感することができたからです。
- ・「お葬式ごっこ」は初めて聞きましたが、思ったよりとても残酷ないじめで衝撃を受けました。また、このいじめには学級担任も関わっていたことを後から知り、更に衝撃を受けました。コップの話は母から何回も聞いたことがありました。コップの水があふれる前にいじめをいち早く予防することがとても大事だと思いました。コップが心の涙であふれないように毎日を頑張って生きたいです。
- ・どんなことがあってもいじめられる人は悪くないことをしっかりと知れた。また、どんな理由があってもいじめはしてはならない。いじめられる人を見つけたら何もしないのではなく、少しでも声をかけてあげるなど自分にできることは少しあると感じた。
- ・見て見ぬふりをしている人もいじめになるんだと思った。いじめられている人を見たら周りの大人に相談したい。流されない人になりたいなと感じた。
- ・いじめは法律で禁じられていること。いじめは思わぬ方向に進展し発展してしまう場合がある。
- ・いじめは身近で起きるかもしれないけれど、理由がどうあっても絶対にしてはいけなくと改めて気付きました。実際に例示されたいじめがあって、自分はまだ生きたいのにこのままだと「生き地獄」や「最後のお願い。ばかなことはもうやめてくれ。」などを手紙に残して亡くなってしまったことを聞いてとても悲しくなりました。自分はこの授業を通して、いじめは絶対にしてはいけなく、もしされている人がいたり友達に何かあったりしたら助けてあげたいと思いました。自分ももうこのような悲しい出来事は起きないでほしいと思いました。
- ・私は、最初いじめは先に何か悪いことをした人がいじめられているのであれば、それは仕方のない事なのかなと思っけていたけど、授業を通して何か理由があつたとしても、それをいじめにつなげてはいけなくことが分かつた。
- ・いじめ予防の授業の話を聞いて、たとえおふざけで人をだましてその人の心の気持ちは何一ついい気持ちにならないし、この先ずっとこのような感情だと思ひ、絶対にこのような行動をしないで自分の心を落ち着かせるということが大事だと思ひました。
- ・いじめは人権の「安心・自信・自由」の3つを破つていることだと分かつた。いじめは法律から見れば犯罪なんだと思つた。
- ・相手の気持ちを考えることを大切にしようと思ひました。自分では軽い冗談のつもりでも相手にとってダメージになることがあるため、普段の言葉遣いや態度にもっと気を配る必要があると思ひました。
- ・実際に起きたいじめを紹介されている時、いじめられた人の最後の願ひに泣きそうになつた。いじめの怖さについて改めて分かつた。
- ・誰かがいじめられているのを見て、見て見ぬふりをしている人はいじめに協力しているのと同じ。(いじめられている人に)手を差しのべる必要がある。
- ・いじめられている人、いじめを傍観している人には、「やめて」と言える勇氣、いじめを止めさせる勇氣が必要だと思つた。いじめと嫌がらせへの境目は何だろうと思つた。
- ・いじめをしている人は面白がつたり、遊びや冗談のつもりで言つてたりしているし、言つた後は気にもしないで、いつも通りでいるけど、された側は本当に辛いし苦しい思い出でいっぱいになつていて、できないことの方が多くなつてしまうから、いじめはしてはいけなく。(いじめを受けて)嫌だと感じたら伝える勇氣も必要なんだと思ひました。逃げることは恥ずかしいことではなく、自分を守るための1つの手段。いじめは、被害者はもちろんだけど、加害者の話も聞くべきだと思ひました。不満は誰にでもあるけれど、それを発散する方法でいじめをする子もいると思うから、それをどうか違う方法で発散してほしいと感じます。
- ・改めていじめは身近なものだを感じた。授業では弁護士が言つていたように、確かにいじめられる側がきっかけを作つてしまったかもしれないけど、いじめをしていい理由にはならないし、このような時には、しっかりとお互ひに話し合つて解決し、いじめに発展することが無いようにしていきたい。
- ・いじめは人権を侵害する悪質な行為であることが分かりました。また、(いじめをする)理由にどのようなことがあつても、いじめをされた人に非はないことを改めて考えさせられました。
- ・いじめは、やつた人がいじめと思つていない事があるため、被害者が声を出して言わないとダメだと改めて思つた。嫌なことをため込む人が多いから、そこをどうかしないと思ひ一生いじめは終わらないと思ひ。

2年東京校外学習 2/13

青梅との比較に加え、平和の視点からも学習してきました



青梅市中学校技術・家庭科作品展がありました  
青梅市中央図書館 2/6~2/10



ぶかつどう  
**〇部活動、がんばっています 2/2～3/2 ※敬称略 ※青梅マラソン含む**

部活動名	大会名	団体/個人	大会日	対戦校	勝敗結果	内容等
女子バスケットボール	多摩大会	団体	2月9日	武蔵高付 属中	負	
男子バスケットボール	多摩大会	団体	2月11日	国分寺五 中	負	
男子バレー	Secondary Cup	団体	2月9日	小平六中	勝	ボラーレ北多摩、台東上野中に負ける。
バドミントン	Eブロック冬季大会 シングルの部	個人	2月9日			<シングルの部> 5回戦進出 4回戦進出
	Eブロック冬季大会 ダブルスの部	団体	2月11日			<ダブルスの部> 4回戦進出
バドミントン	Eブロック冬季大会 シングルの部 決勝大会	個人	2月16日			
※	第57回青梅マラソン大会	個人	2月16日			中学生の部女子 第5位 1D

**3月・4月前半の予定** ★給食あり

月	火	水	木	金	土・日
<b>3月10★</b>	<b>11★</b>	<b>12★</b>	<b>13★</b>	<b>14★</b>	<b>15・16</b>
パラアスリートとの 体験学習・講話  SC	都立高分割後 期・全日制二次 入試 避難訓練 SC あゆみ教室		あゆみ教室	卒業式予行 都立高分割後 期・全日制二次 合格発表 部活再登校 16:00 SC	
<b>17★</b>	<b>18★</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>21★</b>	<b>22・23</b>
	卒業式準備  あゆみ教室	卒業式 ※2年全員と1 年代表生徒は登 校、それ以外の 1年は家庭学習 部活再登校 15:00	春分の日	1年球技大会	
<b>24★</b>	<b>25</b>	<b>26</b>	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29・30</b>
2年球技大会 給食終 大掃除	修了式 安全指導	春休み開始	都立高定時制二 次入試		
<b>31</b>	<b>4月1日</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5・6</b>
<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9★</b>	<b>★10</b>	<b>11★</b>	<b>12・13</b>
始業式 着任式 教科書配布 (新2・3年)	入学式 ※新2年全員と新 3年代表生徒は登 校、それ以外の新 3年は家庭学習	給食始 新入生歓迎会 特別時間割始 部活再登校 16:00	写真撮影	3年内科検診 避難訓練	

※4月保護者会、各15時開始：新1年16日(水)、新2年15日(火)、新3年14日(月)【ご予約願います。】

※お子様のことでご相談がある場合は、<sup>こさま</sup>教員の他、<sup>そうだん</sup>スクールカウンセラー (SC) もぜひご利用くださ  
い。<sup>ふくこうちょう</sup>(アポイント先：副校長、<sup>ようごきょうゆ</sup>養護教諭：電話0428-31-0411) 【4月分は4月号となります。】

予定は変更になる場合があります。変更が生じた際は別途、連絡いたします。